

# 乳幼児連れの人々の移動の現状とその支援に関する基礎的研究 ～保育園利用者を対象として～

福岡大学工学部社会デザイン工学科 辰巳 浩, 堤 香代子, 岡 泰佑

## 1.はじめに

### 乳幼児連れの人々の支援状況

近年、わが国では少子化問題が深刻化しており、子育て環境の向上が求められている。しかし、様々な分野において子育て支援が行われている一方、交通分野における支援は消極的なのが現状である。例えば、バリアフリーに関する取り組みについてみても、これらはいずれも高齢者または身障者を対象としており、乳幼児連れは非対象となっている。このように、高齢者、身障者に対する支援は進んでいる一方で、乳幼児連れの人々の移動支援は不十分であるといえる。

### 乳幼児連れの人々の支援に関する既往研究

本テーマに関する既往研究についてみると、その実績は乏しく、また、いずれも近年取り組まれたものであることがわかった。すなわち、最近になってようやく乳幼児連れの人々の移動支援が注目され始めているといえる。  
また、既往研究のほとんどは関東・関西地方を中心とした大都市圏を対象としており、公共交通を利用しやすくすることを目指す方向性にある。

### 本研究の目的

本研究では、マイカー依存度の高い地方都市に着目し、乳幼児をもつ人々を対象にアンケート調査を行うことにより、交通行動の特性について分析することとする。また、特にマイカーでの移動に着目し、マイカー利用時の満足度等について分析することにより、課題を見出すことを目的とする。

## 2.調査概要

### 実施方法

・保育園へ協力をお願いし、母親へアンケート票を配布

### 実施場所

・福岡市中央区、西区、城南区の保育園9カ所

### 調査期間

・平成22年11月に実施

### 調査項目

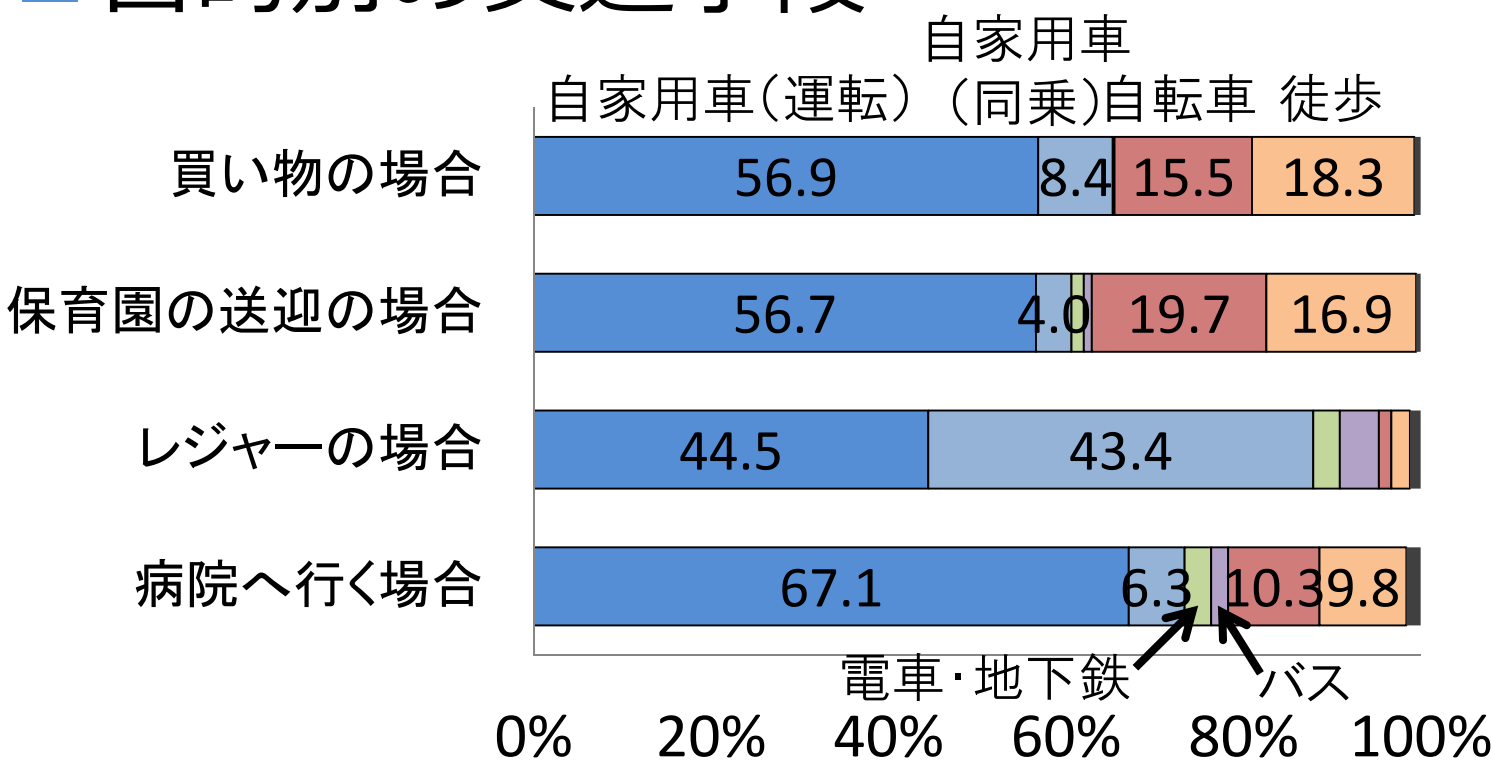
| 目的別の交通状況 | 個人属性      | 性別・年齢・就業・住まい・家族構成・最寄り駅の有無・食材の宅配利用状況・自家用車の有無 |
|----------|-----------|---------------------------------------------|
|          | 買い物に行く場合  | 利用スーパー名・スーパーまでの距離・スーパーの交通手段                 |
|          | 保育園の送迎の場合 | 保育園までの距離・保育園までの交通手段・保育園の送迎時間                |
|          | レジャーの場合   | 主な交通手段                                      |
|          | 病院へ行く場合   | 主な交通手段                                      |
| 運転状況・満足度 |           | 運転中気をつけること・スーパーの駐車場利用満足度・駐車後の利用満足度          |

### 回収状況

| 配布部数 | 回収部数 | 回収率   |
|------|------|-------|
| 870部 | 452部 | 52.0% |

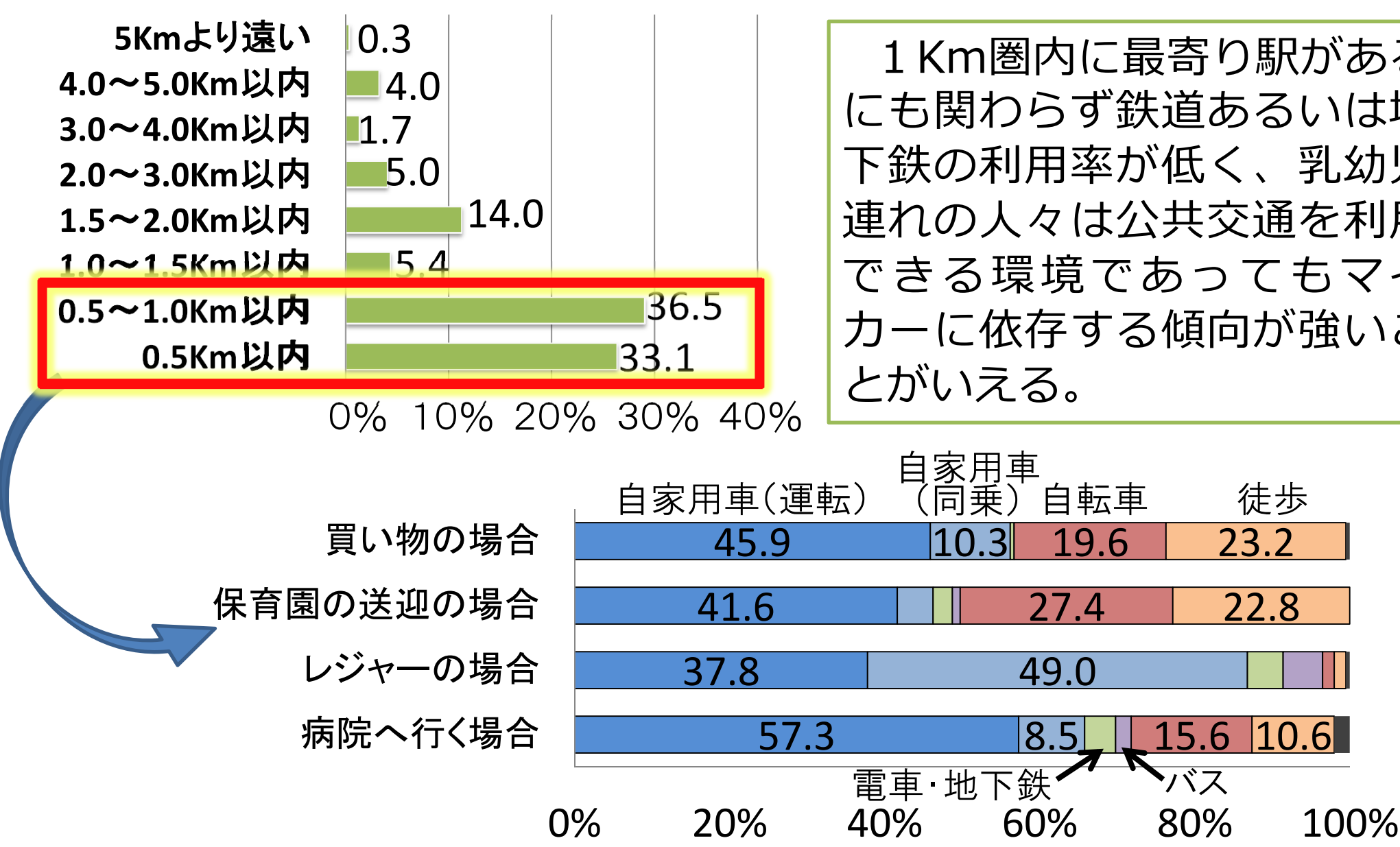
## 3.分析結果

### ■ 目的別の交通手段

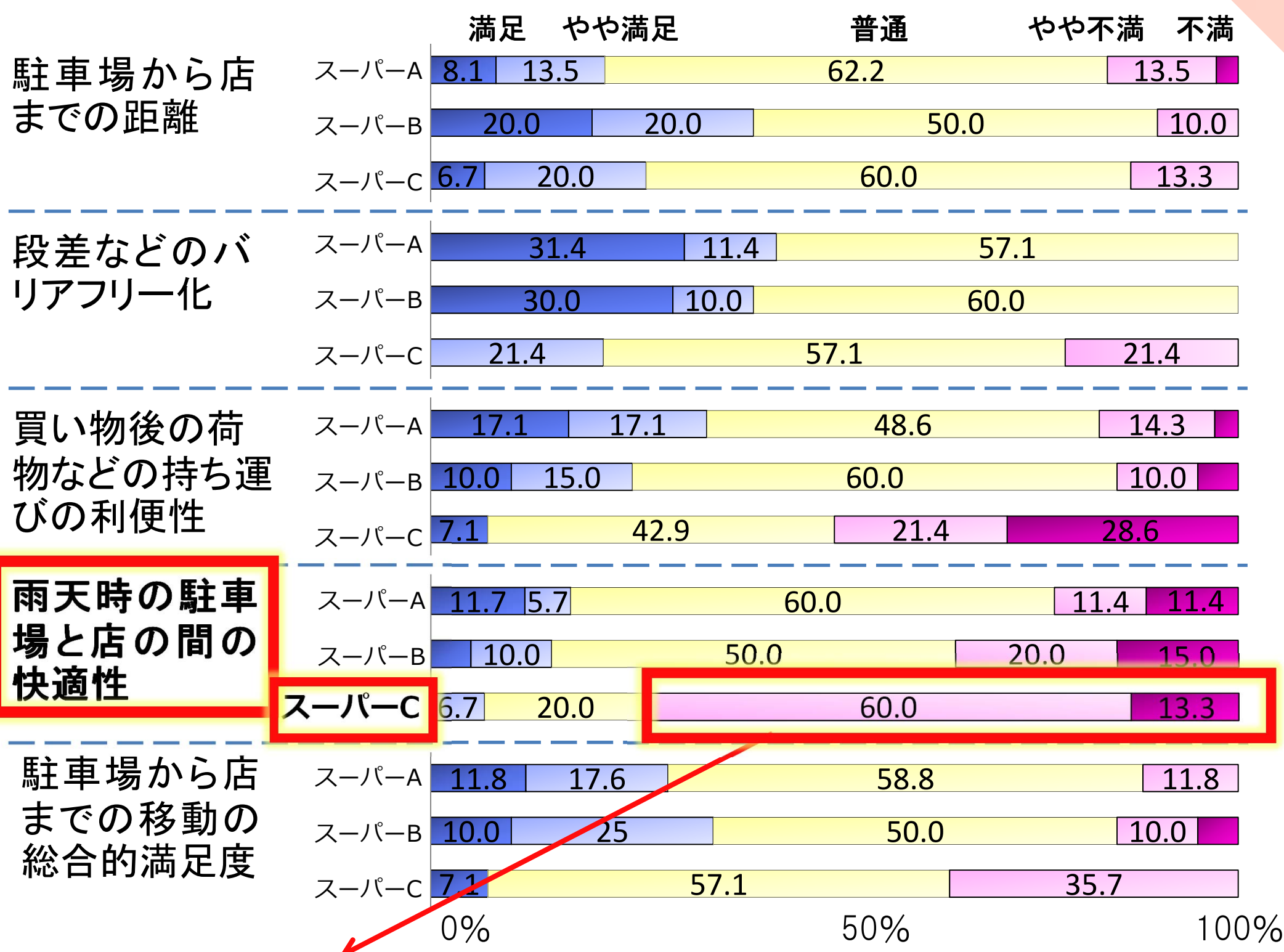


地方都市の乳幼児連れの人々は、マイカーへの依存度が高いことがわかる。特にレジャーの場合はマイカーの利用率が高いとえる。

### ■ 自宅が駅に近い人々の交通手段



### ■ 代表的スーパーにおける駐車後の満足度



店舗により満足度が異なり、特に「雨天時の駐車場と店の間の移動の快適性」についてはスーパーCの満足度が低くなっている。その理由として、スーパーCは大型スーパーであり、駐車場が道路を挟んだ場所に位置することから、駐車場の設置位置に原因があると考えられる。



スーパーCの駐車場

## 4.まとめ

### 乳幼児連れの人々の移動実態

乳幼児連れの人々は公共交通を利用できる環境であってもマイカーに依存する傾向が強いことがわかった。

公共交通だけではなくマイカーへの支援策も重視すべき

### 乳幼児連れの人々の意識

マイカーで買い物に行く際の駐車に関する満足度は比較的高いが、雨天時の移動の快適性には改善の余地がある。

改善策として、屋根付き駐車場の整備や、屋根が設けられない場合でも、店舗入り口付近に身障者用駐車スペースと同様、乳幼児連れ優先駐車スペースを設けることなどが考えられる。

